

講習の名称：アジアのなかの日本—近現代史から考える

担当講師：今井 就稔（共同教育学部准教授）

講習開講日：令和3年8月21日（土）

時間数：6時間

主な受講対象者：小教諭、中（社会）・高（地理歴史）教諭

キーワード：不平等条約、華僑と日本の中華街、中国社会の特徴、女性史、日中関係

講習の概要：

私の専門は中国の近現代史なのですが、今回の講習では中学校までに学習する日本史的内容を、中国史を含めたアジアのなかでとらえ直すことを目的とします。具体的には、「ペリー来航」・「日清・日露戦争」・「不平等条約」・「第一次世界大戦」・「女性の社会進出」・「米騒動」・「国家総動員法」あたりから時間数を勘案して選びたいと考えています。日中関係の動向によっては時事的な問題とも関連づけやすいテーマに一部変更する可能性もありますが、以下のようなテーマを考えています。

講習の展開：

- 第1時限 中国社会のしくみと不平等条約
- 第2時限 華僑と日本の中華街
- 第3時限 100年前の東京と上海～女性の社会進出をめぐって
- 第4時限 米騒動とアジア

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

とくにないです。レベルは（多分）普通です。予習などは必要ないです。

授業の形式：講義（史料を読んでもらう予定です）

履修認定試験：筆記試験

テキスト・参考文献

テキストは使いません。こちらで用意します。